



大山みちこ
090-2540-3582



桜井くるみ
080-5026-6701



白根よしのり
070-4388-5273

ご覧ください



政務活動費で発行しています

学校給食の無償化と自校式を

現在熊谷市の学校給食は、第三子以降の給食費を補助する給食費第三子以降無償化事業や、食材費の値上がり分として児童生徒が負担する事業を実施しています。熊谷市給食費等検討委員会において、給食の提供回数や給食費の増額について検討が始まっています。憲法26条の義務教育の無償を実現すべく、今後も給食費の無償化を求めていきます。

また大里地区、妻沼地区は給食を学校内で調理する自校式の給食施設を有していますが、熊谷市は今後大規模給食センターを建設し全ての学校をセンター方式に移行する考えです。供用開始2025年でしたが、建設場所が決まらず大幅に遅れています。給食は教育であり、食育の観点からも優位性のある自校式給食を今後も求めていきます。

現行給食費 (平成26年4月～) (喫食回数181回/年)

	年 額		月 額		日 額	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
熊谷地区	41,800円	50,600円	3,800円	4,600円	231円	280円
大里地区	44,000円	52,800円	4,000円	4,800円	243円	292円
妻沼地区	39,600円	45,650円	3,600円	4,150円	219円	252円
江南地区	41,800円	50,600円	3,800円	4,600円	231円	280円

※基本金額は月額とし、年額は月額×11月、日額は年額÷181回により算出されます。
※妻沼地区は週2回ご飯を持参しています。

星宮小学校スクールバス等運行業務委託

補正予算 1億1,600万円

令和5年度から9年度までの5年間で

来々4月より星宮小学校は閉校となります。星宮小の子どもたちは「新・成田星宮小学校」(現在の成田小学校)に通学することになるため、スクールバスが運行されます。運行の内容は次の通りです。



- スクールバスは授業日数と同じ、年間200日運行する。
- スクールバスはバス会社所有の車両(中型10人乗り)2台を使用する。
- スクールバス1台は、8時半から11時までの間(授業のある時のみ)、循環バスとして星宮小学校地域内を運行する。

子育て世帯生活支援特別給付金の申請もれはありませんか

STOP コロナ

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯(18歳以下の子ども、一定の障がいがある場合は20歳)に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、

核廃絶をアピール

7月20日行われた平和大行進は市役所をはじめ市内7ヶ所でのスタンディング行動となりました。



市役所に掲げられた「非核平和宣言都市」の懸垂幕

国民平和大行進に参加
左から 大山市議、桜井市議、白根市議

対象期間

水道の検針は2か月に1回おこなわれています。

- 偶数月検針家庭
令和4年8・10・12月検針分
- 奇数月検針家庭
令和4年9・11月・令和5年1月検針分

対象内容

- 基本料金の2分の1
(個人・会社も対象)

【例】

メーター口径	1か月の基本料金	6か月間の減額分
13ミリメートル	1,320円	3,960円
20ミリメートル	1,386円	4,158円
25ミリメートル	1,452円	4,356円
30ミリメートル	2,244円	6,732円

財源

コロナ対策に使える
国からの臨時給付金、3億7,200万円

今年度、水道基本料金が6か月間半額に

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しています。また、原油価格や物価の高騰で暮らしが大変になってきていますが、その支援として、水道料金の基本料金を50%減額することになりました。



桜井くるみ



40年間の熊谷市の総合管理計画に、市民は決して全部に反対しているわけではないが、自分の生活圏の中に、「コミュニティの核となる学校や公民館がどういう形で残るのか、と不安を持っている。

計画通りに進めることが優先されないように、時期が延びても多くの市民が納得いくように進めるべきである。

■市は「理解を得られた」というが

男沼小、太田小、妻沼南小の統合について、市は「説明会での保護者の参加者が少なかつたが一定の理解が得られた」とした。すでに、校名や通学方法など、統合に向けた事項を協議する「統合準備委員会」を令和4年3月に立ち上げた。統合

妻沼3小学校の統合に大きな不安がでている

準備委員会の協議が紛糾するなどして予定が遅れるなどした場合でも、「示した令和7年4月に統合できるようにご意見を広く聞き、丁寧に進めていく」と議会答弁している。

しかし、令和3年11月に行われた3校の地域説明会記録には、次のような意見が掲載されている。「こんなにも少ない参加者で男沼地区の意見が十分反映されないまま、妻沼南小に統合するということは問題。どのような周知をしたのか」「災害時の避難所はどうなるのか」「妻沼南小より妻沼小のほうが近いので、妻沼小に通学していいか」。

市の考えは「どんなに反対意見や違った意見がだされても、予定通り進めることには変わりありません」と私には思え

他の質問

- 小・中学生のハートフル学級中止に続き、成人ハートフル学級も中止を

大山みちこ



積極的な平和事業を

ロシアのウクライナへの軍事的な侵略が続いています。戦争が一日でも早く平和的に終結するよう「ロシアは侵略をやめよ、国連憲章を守れ」の声を一緒に挙げていきましよう。

熊谷市は平成18年7月1日に『非核平和都市』を宣言しました。ロシアが核の使用もあり得るなど他国を脅している時だからこそ、常に『非核平和都市宣言』をアピールすることは、ますます大切です。

■平和のアピールとして非核平和宣言都市の懸垂幕の常時掲出を

問 県内唯一の戦災指定都市として、懸垂幕の常時掲出を求める。

答 懸垂幕は、本庁舎、大里・妻沼・江南各行政センターの4か所、広告塔は本庁舎、東部体育館跡地、雀宮団地内及び大里行政センターの4か所に掲出。懸垂幕は毎年更新し、常時掲出を基本としているが、風雨等による破損や他の懸垂幕の掲出状況により、本庁舎では通年での掲出ができていないこともある。今後、通年での掲出を基本に常時掲出できるよう努めていく。

要望 本庁舎の懸垂幕は1枚99,000円。再度常時掲出を要望。

※7月より本庁舎の懸垂幕は掲出されています。

■平和首長会議への参加について

全国1741自治体のうち、埼玉県63自治体を含め1737自治体が加盟

他の質問

- 熊谷市住宅リフォーム資金補助制度の周知と対象拡大を
- 学校教材等の選定について

白根よしのり



聴こえのバリアフリーとMaas等について

聴こえのバリアフリーとMaasという項目について、どちらも高齢者福祉を基本として質し

ました。聞こえのバリアフリーは以前にも一般質問していますが、この間東京などで補聴器の補助が広がっています。加齢と共に耳が聞こえづらくなっている加齢性難聴は対人コミュニケーションや仕事などの生活の質に直結する問題です。年を重ねても仕事や趣味などの社会活動を行うことが健康寿命を伸ばす為にも重要と考えますが、難聴は社会参加や働く上で大きな障害になります。高齢者にとって補聴器は社会参加の必需品と言えるでしょう。しかし補聴器の所有率が欧米に比べて低いのは値段的な問題があり、再度加齢性難聴者への補聴

器の補助を求めて質問を行いました。

問 熊谷市の加齢性難聴と考えられる方の人数は。

答 17,000人と推計される。

問 (国立長寿医療研究センターの調査報告では25dBを超える軽度難聴者を含めた難聴有病率が示されており、65歳以上の人口で試算)

補聴器の助成について。

答 助成制度を市が独自に創設することは、次の世代に新たな負担が生じま

すので、現時点では考えていない。

問 新たな負担とは具体的に。

答 難聴者数が不明であることから予算規模を、推計することは困難。

国交省では「Maasとは、地域住民

や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせで検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです。」としています。

こうしたものは世界的に進んでいく兆しがあり、日本も例に漏れませんが、すぐには高齢者の移動手段の確保にはつながりません。今現在、通院などに困っている高齢者の方へのタクシー補助を求めて質問を行いました。

他の質問

- 給付金等の収入認定と一時的収入について
- 市営住宅の今後について

問 新・市長も平和首長会議への加盟を引き継ぐか？

答 この会議は1982年に世界平和連帯都市市長会議として設立され、広島市及び長崎市が中心となり、都市相互の緊密な連携を通じ、核兵器廃絶の市民意識を国際的規模で喚起することに取り組むことを目的として活動している組織で、本市の平和を願う理念に合致していることから趣旨に賛同し、平成21年4月に加盟した。引き続き、平和首長会議及び加盟都市と連携を取りながら、恒久平和の実現に向けて努めていく。

る。このままでいいはずがない。

■妻沼地域407号線の西地域には学校が残らない

40年間の公共施設の統廃合計画がそのまま行われたとしたら、各中学校校区にはどのくらいの公共施設が存在することになるのか。妻沼東中学校校区は53が39、妻沼西中学校校区は47が35となる見込み。また、妻沼地域の国道407号線西側には、(仮称)地域会館等のコミュニティ施設が5、児童クラブが1、消防施設が2、防災施設が1、人権施設が1、公園施設が12となり、学校は残らないことに、すでに多くの不安の声が出ている。